

令和7年度農林水産関係予算概算要求の重点事項（案） （土地改良事業関係抜粋）

（農業生産基盤の整備・保全）

- | | |
|---|-----------------------------|
| ① 農業農村整備事業＜公共＞ | 3,952億円 (3,326億円) |
| ・スマート農業技術の導入に資する農地の大区画化、水田の汎用化・畑地化、農業水利施設の計画的な更新・長寿命化、省エネ化・再エネ利用、省力化等による適切な保全管理、ため池の防災・減災対策、田んぼダムの取組拡大等流域治水対策、農道、集落排水施設の整備等を推進 | |
| ② 農地耕作条件改善事業 | 239億円 (198億円) |
| ・農地中間管理機構による農地の集積・集約化、麦・大豆や高収益作物への転換を推進するため、機構による担い手への農地の集積・集約化が行われる地域等において、農地の区画拡大や排水改良等を支援 | |
| ③ 農業水路等長寿命化・防災減災事業 | 338億円 (282億円) |
| ・農業生産活動の基盤となる農業水利施設の機能を安定的に発揮させるため、機動的・効率的な長寿命化・防災減災対策を支援 | |
| ④ 畑作等促進整備事業 | 26億円 (22億円) |
| ・麦・大豆等の生産拡大を推進するため、畑作物・園芸作物が生産される地域を対象に、暗渠排水等の基盤整備をきめ細かく機動的に支援 | |
| ⑤ 農山漁村地域整備交付金＜公共＞ | 農業農村整備分 691億円 (588億円) |
| ・地方の裁量によって実施する農林水産業の基盤整備や農山漁村の防災・減災対策に必要な交付金を交付 | |
| ⑥ 農山漁村振興交付金 | 104億円の内数 (84億円の内数) |
| ・農山漁村における定住や都市と農山漁村の交流を促進するとともに、農山漁村に関わる関係人口の創出・拡大を図るため、「しごと」「暮らし」「活力」「土地利用」の観点から、地域資源を活用した付加価値の創出、農村型地域運営組織（農村RMO）の形成、棚田地域の振興、中山間地域等における農用地保全等の農村振興施策を総合的に推進 | |

令和7年度農業農村整備事業関係予算概算要求（案）の概要

（単位：億円）

| 事 項 | 令和6年度 当初予算額 | 令和7年度 概算要求額 |
|---|----------------|--------------------------|
| 農業農村整備事業＜公共＞ | 3,326 | 3,952 (118.8%) |
| 農業農村整備関連事業＜非公共＞ | 548 | 658 (120.1%) |
| <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> 農地耕作条件改善事業 畑作等促進整備事業 農業水路等長寿命化・防災減災事業 農山漁村振興交付金 </div> | | |
| 農山漁村地域整備交付金＜公共＞ （農業農村整備分） | 588 | 691 (117.5%) |
| 合 計 | 4,463 | 5,301 (118.8%) |

- （注） 1. 計数は四捨五入のため、端数において合計とは一致しない場合がある。
 2. 下段（ ）書きは令和6年度当初予算額との比率である。

令和7年度 農業農村整備事業関係予算 概算要求（案）

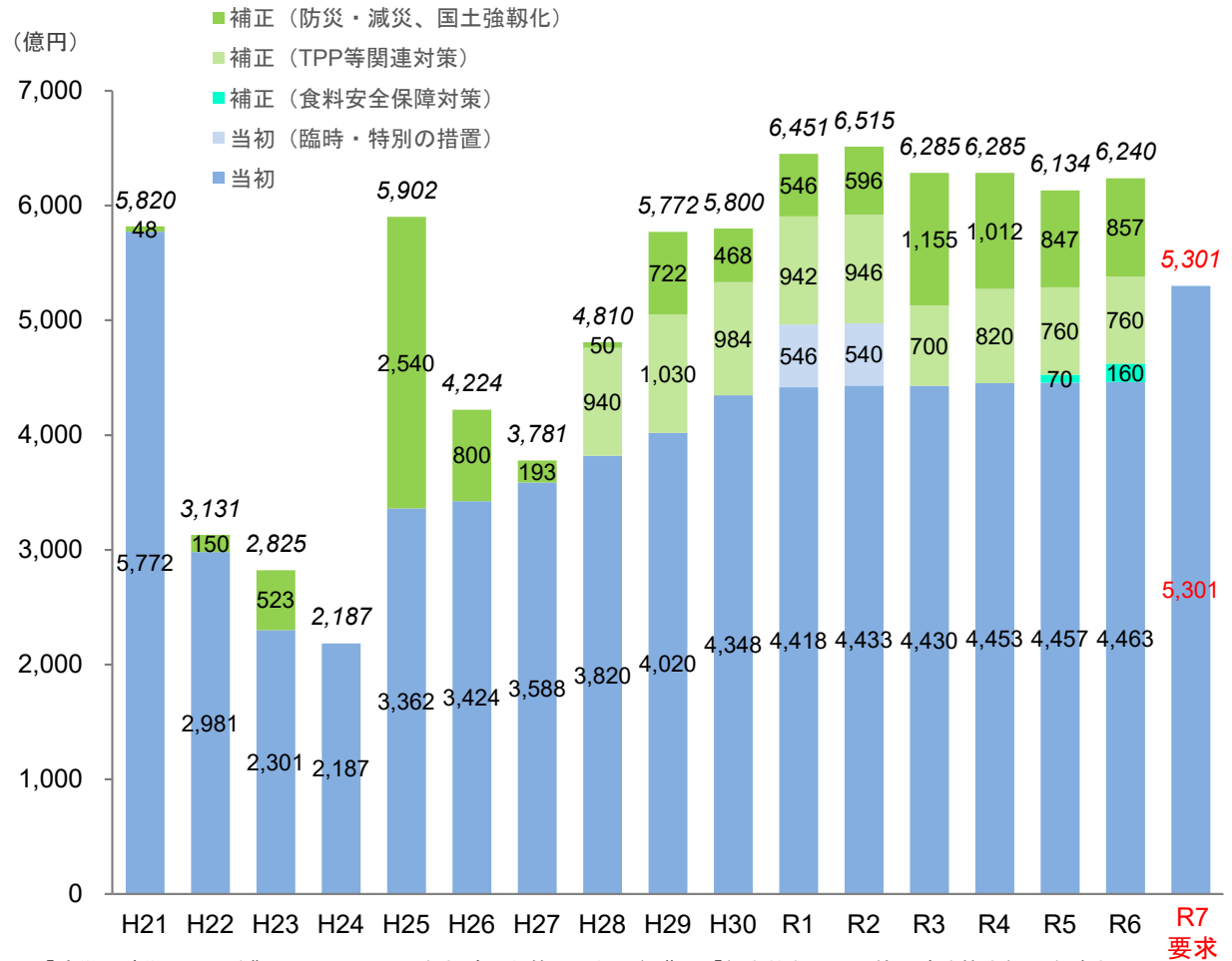
○ 競争力強化・国土強靱化のための農業農村整備を計画的に推進するため、農業農村整備事業（公共）、農業農村整備関連事業（非公共）及び農山漁村地域整備交付金（農業農村整備分）を合わせて、5,301億円（対前年度比118.8%）を要求。

令和7年度予算概算要求

（単位：億円）

| | R6 | R7 | 前年度比 |
|---|-------|-------|--------|
| | 当初予算 | 概算要求 | |
| 農業農村整備事業(公共) | 3,326 | 3,952 | 118.8% |
| 農業農村整備関連事業(非公共) <small>（農地耕作条件改善事業、畑作等促進整備事業 農業水路等長寿命化・防災減災事業 農山漁村振興交付金）</small> | 548 | 658 | 120.1% |
| 農山漁村地域整備交付金(公共) (農業農村整備分) | 588 | 691 | 117.5% |
| 計 | 4,463 | 5,301 | 118.8% |

農業農村整備事業関係予算の推移



※「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に係る経費、「総合的なTPP等関連政策大綱」を踏まえた農林水産分野における経費、「食料安全保障強化政策大綱」を踏まえた食料安全保障の強化に向けた対応に係る経費については、予算編成過程で検討。

注：計数は四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがある。